



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月11日

上場会社名 株式会社フジックス 上場取引所 東
コード番号 3600 URL https://www.fjx.co.jp
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)藤井 一郎
問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理部長 (氏名)松尾 勇治 (TEL)075(463)8111
四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	2,900	5.7	△95	—	△72	—	△116	—
2022年3月期第2四半期	2,744	△10.7	△78	—	△65	—	△74	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 267百万円(146.5%) 2022年3月期第2四半期 108百万円(△34.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2023年3月期第2四半期	円 銭 △84.63	円 銭 —
2022年3月期第2四半期	円 銭 △54.12	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2023年3月期第2四半期	百万円 11,101	百万円 9,641	% 79.6
2022年3月期	10,775	9,445	80.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 8,837百万円 2022年3月期 8,698百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 50.00	円 銭 50.00
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 50.00	円 銭 50.00
2023年3月期(予想)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 50.00	円 銭 50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,740	6.0	△101	—	△52	—	△92	—	△67.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	1,468,093株	2022年3月期	1,468,093株
2023年3月期2Q	91,425株	2022年3月期	91,425株
2023年3月期2Q	1,376,668株	2022年3月期2Q	1,376,668株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(追加情報)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8
(収益認識関係)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の第7波と呼ばれる感染拡大が見られたものの、行動自粛の緩和と共に個人消費の回復が見られた一方で、不安定な国際情勢や、歴史的な円安進行による国内の物価上昇が顕著となるなど、先行きの不透明感は一層高まりつつあります。

日本向け衣料品の生産は、国内外共にまだら模様ながら回復傾向にあり、これに伴って衣料用縫い糸の受注も増加傾向が見られたものの、国内の手芸専門店の来店客数の回復が鈍いことや、半導体不足などの影響による自動車生産台数の回復遅れにより、家庭用縫い糸や車両内装用縫い糸については、引き続き受注の低調が続きました。

これらの商況に、3月末からおよそ2ヶ月間にわたる中国・上海地域のロックダウンに伴う中国子会社の操業停止による影響、今秋10月以降の販売価格の改正に伴う駆け込み受注、円安進行に伴う為替換算レートの影響等の増減要因が加わり、当第2四半期連結累計期間の売上高は、2,900百万円（前年同期比5.7%増）となりました。

一方利益面につきましては、販管費は引き続き低水準で推移しましたが、販売品目構成の変化や、原材料やエネルギーコストを始め、製造コスト全般の上昇による売上高総利益率の低下が響いて、営業損失は95百万円（前年同期は78百万円の損失）、経常損失は72百万円（前年同期は65百万円の損失）となりました。

なお、2022年11月10日に「特別損失の計上及び連結業績予想の修正に関するお知らせ」にて開示した通り、中国・上海地域のロックダウンによるおよそ2ヶ月間にわたる中国子会社4社の操業停止期間の固定費78百万円を特別損失に計上したため、親会社株主に帰属する四半期純損失は116百万円（前年同期は74百万円の損失）となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

日本

当社グループにおきましては、当第2四半期連結累計期間は、当社の2022年4月から9月まで、国内子会社の2022年2月から7月までの業績が連結されております。

当期間は、急激な円安の進行や国際情勢に起因した資源価格の高騰、諸物価の上昇などによる先行きの不透明感が高まりながらも、行動制限の緩和と共にまだら模様ながらも衣料品消費は持ち直す傾向が見られ、その生産の増加に伴って衣料用縫い糸の受注も回復傾向となりましたが、国内の手芸専門店の来店客数の回復が鈍いことや、半導体不足などの影響による自動車生産台数の回復遅れにより、家庭用縫い糸や車両内装用縫い糸については、引き続き受注の低調が続くなど、分野により状況の相違が見られました。

また、今秋10月より実施した販売価格改正前の駆け込み受注もあって、当セグメントの売上高は2,328百万円（前年同期比6.9%増）となりました。

一方利益面につきましては、販管費は引き続き低水準で推移しましたが、販売品目構成の変化や、原材料やエネルギーコストを始め、製造コスト全般の上昇による売上高総利益率の低下が響いて、セグメント損失は87百万円（前年同期も87百万円の損失）と前年同期同様の厳しい結果となりました。

アジア

当セグメントに属する全ての海外子会社は、事業年度の末日を12月末日と定めており、当第2四半期連結累計期間は、2022年1月から6月までの業績が連結されております。

当セグメントが主力としている日本向け衣料品用の縫い糸需要は、衣料品消費の回復に伴って増加傾向ながら、当社グループにおきましては、3月末以降およそ2ヶ月にわたる中国・上海地域のロックダウンに伴う中国子会社の操業停止が、中国のみならずベトナムやタイ国の子会社の販売にも影響を及ぼしました。

これらから、当セグメントの売上高は、為替換算レート変動の影響によるプラス要因があったにもかかわらず、571百万円（前年同期比0.9%増）にとどまりました。

また利益面につきましては、上述の通り、中国子会社4社の操業停止期間の固定費を特別損失として計上しましたが、第1四半期連結会計期間に続き、原材料、エネルギー価格、輸送費等の高止まりや委託加工賃の上昇を販売価格へ転嫁することが困難な状況も加わって、セグメント損失は19百万円（前年同期は4百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて325百万円増加し、11,101百万円となりました。主な増減は、棚卸資産の減少123百万円があったものの、現金及び預金の増加111百万円、受取手形及び売掛金の増加173百万円、電子記録債権の増加31百万円、その他（流動資産）の増加35百万円、建物及び構築物の増加35百万円、その他（無形固定資産）の増加23百万円などがありました。

負債は、前連結会計年度末に比べて129百万円増加し、1,459百万円となりました。主な増減は、買掛金の増加99百万円、その他（流動負債）の増加28百万円などがありました。

純資産は、前連結会計年度末に比べて196百万円増加し、9,641百万円となりました。主な増減は、利益剰余金の減少185百万円があったものの、為替換算調整勘定の増加309百万円、非支配株主持分の増加56百万円などがありました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の見通しにつきましては、当社グループにおいて、価格改正に伴う販売単価の上昇が見込まれるものの、衣料品や手芸関連品の消費マインドの低下が懸念されることや価格改正前の駆け込み受注の反動も予想され、また利益面では、今後エネルギー価格や原材料価格等のさらなる上昇が予想されるものの、価格改正による売上高総利益率の改善が見込まれます。

併せて2022年11月10日に公表いたしました「特別損失の計上及び連結業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、中国・上海市の子会社において特別損失を計上したこともあり、通期の連結業績につきましては、売上高5,740百万円(前期比6.0%増)、営業損失101百万円(前期は212百万円の損失)、経常損失52百万円(前期は168百万円の損失)、親会社株主に帰属する当期純損失92百万円(前期は164百万円の損失)を予想しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,746,675	2,857,849
受取手形及び売掛金	1,045,341	1,219,332
電子記録債権	204,312	235,866
棚卸資産	2,699,857	2,576,751
その他	61,665	97,595
貸倒引当金	△8,527	△2,891
流動資産合計	6,749,324	6,984,503
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,962,583	1,998,039
その他(純額)	688,346	695,926
有形固定資産合計	2,650,929	2,693,966
無形固定資産		
その他	202,500	225,553
無形固定資産合計	202,500	225,553
投資その他の資産		
投資有価証券	884,713	902,275
その他	296,193	302,932
貸倒引当金	△7,850	△7,850
投資その他の資産合計	1,173,055	1,197,358
固定資産合計	4,026,485	4,116,877
資産合計	10,775,810	11,101,381
負債の部		
流動負債		
買掛金	345,382	445,006
未払法人税等	9,352	15,813
賞与引当金	48,236	46,532
その他	185,375	213,397
流動負債合計	588,347	720,748
固定負債		
役員退職慰労引当金	219,806	218,061
退職給付に係る負債	50,277	51,316
資産除去債務	32,788	32,788
その他	438,782	436,481
固定負債合計	741,654	738,647
負債合計	1,330,001	1,459,396

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	923,325	923,325
資本剰余金	771,087	771,087
利益剰余金	6,315,211	6,129,312
自己株式	△109,313	△109,313
株主資本合計	7,900,310	7,714,411
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	267,385	278,422
為替換算調整勘定	531,836	841,531
退職給付に係る調整累計額	△1,073	3,621
その他の包括利益累計額合計	798,149	1,123,575
非支配株主持分	747,348	803,997
純資産合計	9,445,808	9,641,984
負債純資産合計	10,775,810	11,101,381

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	2,744,389	2,900,065
売上原価	2,044,681	2,229,221
売上総利益	699,707	670,844
販売費及び一般管理費	777,765	765,896
営業損失(△)	△78,057	△95,051
営業外収益		
受取利息	4,176	4,236
受取配当金	13,640	16,144
賃貸料収入	12,277	11,804
その他	9,745	12,186
営業外収益合計	39,840	44,371
営業外費用		
支払利息	274	—
賃貸料収入原価	5,386	5,190
為替差損	15,593	14,408
その他	6,370	2,674
営業外費用合計	27,624	22,273
経常損失(△)	△65,842	△72,954
特別利益		
固定資産売却益	—	549
特別利益合計	—	549
特別損失		
固定資産売却損	—	271
固定資産除却損	15	—
新型コロナウイルス関連損失	—	78,969
特別損失合計	15	79,240
税金等調整前四半期純損失(△)	△65,857	△151,645
法人税、住民税及び事業税	12,861	11,569
法人税等調整額	△1,731	△11,876
法人税等合計	11,129	△306
四半期純損失(△)	△76,987	△151,338
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,479	△34,826
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△74,507	△116,512

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純損失(△)	△76,987	△151,338
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38,987	11,036
為替換算調整勘定	222,089	402,827
退職給付に係る調整額	2,292	4,694
その他の包括利益合計	185,393	418,559
四半期包括利益	108,406	267,220
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	58,886	208,914
非支配株主に係る四半期包括利益	49,520	58,306

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、前連結会計年度の有価証券報告書において注記した仮定に関して、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	2,178,109	566,279	2,744,389	—	2,744,389
外部顧客への売上高	2,178,109	566,279	2,744,389	—	2,744,389
セグメント間の内部売上高 又は振替高	81,213	236,012	317,226	△317,226	—
計	2,259,323	802,292	3,061,615	△317,226	2,744,389
セグメント利益又は損失(△)	△87,052	4,232	△82,820	4,762	△78,057

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額4,762千円は、セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	2,328,723	571,342	2,900,065	—	2,900,065
外部顧客への売上高	2,328,723	571,342	2,900,065	—	2,900,065
セグメント間の内部売上高 又は振替高	125,506	191,590	317,097	△317,097	—
計	2,454,229	762,933	3,217,163	△317,097	2,900,065
セグメント損失(△)	△87,394	△19,231	△106,626	11,574	△95,051

(注) 1. セグメント損失の調整額11,574千円は、セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。